

同志社大学における講義保障体験（授業体験）の申し出について（ご案内）

今回の試みは、本学の調査研究のテーマである『障害のある生徒の大学での講義保障体験の有無による進学意欲の影響に関する比較調査』を行ううえでベースとなるものです。お申し出は、現在、聴覚障害のある生徒が在籍している場合を原則としますが、今後の貴校における受入れを想定されるケースも可とします。

本学（大学）における障がい学生支援の「講義保障」に関する取組みをじかに体験できる貴重な機会となることと確信いたしております。

つきましては、下記により実施いたしますので、積極的なお申し出をお願いする次第です。

記

■実施対象日： 10月

月	火	水	木	金
19	20	21	22	23
26	27	28	29	30

11月

月	火	水	木	金
2		4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20
	24			

12月

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22			

- 実施講時： 1 講時（9:00～10:30）、 2 講時（10:45～12:15）
3 講時（13:15～14:45）、 4 講時（15:00～16:30）のいずれか

■対象科目：

- ・原則として、通常、進学希望学部の1，2年次生が履修する基礎・教養科目とします。（但し、語学、実験・実習、体育実技科目は除きます）
- ・科目は、希望の来校日および講時をもとに、相談のうえ決定します。

■実施校地：

京田辺校地（京都府京田辺市）を原則としますが、希望により今出川校地（京都市上京区）でも対応いたします。

<裏面へ>

- 講義保障手段： PC通訳、ノートテイク、手話通訳のいずれかとします。
(参考) PC通訳 (パソコン通訳とも言い、障がい学生の両脇に学生サポートスタッフを配置し、講義内容を2台のパソコンで連携入力の上、パソコン画面に表示します。)
ノートテイク (障がい学生の両脇のサポートスタッフが、交互に講義内容を紙に書き取ります。)
- 参加対象者：
聴覚障害のある生徒(1～3年生のいずれでも可)、その父母または進路指導教員とし、左記3者のいずれかまたはその重複を可とします。
- 当日の予定：
講義開始の30分前には来校いただき、簡単な打合せの後、授業に参加いただき、終了後、30分程度ご感想などをヒアリングいたします。また、お申し出により30分程度のキャンパスツアーを実施します。
- 実施予定数： 先着20名(組)を予定しています。
- 申出方法：
進路指導教員または父母より、下記担当者に電話で直接お申し出くださるようお願いいたします。なお勝手ながら9月15日(火)よりの受け付けとなります。

<本講義保障体験に関するお問合せ先>

同志社大学 学生支援センター

京田辺校地学生支援課 障がい学生支援室

TEL: 0774-65-7411

FAX: 0774-65-7024

E-mail: jt-care@mail.doshisha.ac.jp